



令和6年7月1日  
目黒区立中央町保育園 園長

本格的な梅雨の季節になりましたが、梅雨の合間の晴れた日には子どもたちは泥んこ遊びなどを存分に楽しんでいます。

先月中旬に、園庭に小さな家が完成しました。昨年度、「夢いっぱい園庭づくり」というテーマで職場研修を行い、子どもたちがより園庭遊びを楽しめるためにどんな環境づくりをしていきたいか討議を重ねました。その結果、ダンゴ虫が住みつき子どもたちが自由に虫を探せる場所として「ダンゴ虫ハウス」という名のプランター、上り下りを楽しめる「築山（つきやま）」、しがみついて揺れて遊べる「サンドバッグ」が完成し、そして先月新たに小さな家が園庭に出来上がりました。子どもたちは家に入ると寝転がって家ごっこをしたり、家の窓越しのカウンターで友達を相手に「いらっしやいませ」「おまたせしました。ジュースです」とお店屋さんごっこをしたりして、遊びが広がっています。「こんなおうちに住みたいなあ」という声も聞かれ、園庭に出来た新しい家は子どもたちにとって夢の空間になっているようです。これからも子どもたちが想像力を豊かに膨らませ、わくわくできる遊びをたくさん経験出来るように環境を整え、子どもたちの発見や感動を大切にしていきたいと思えます。

**\*今月の予定\***

プール開き（3・4・5歳児）  
笹焼き

七夕集会（3・4・5歳児）  
中旬 身体計測 避難訓練



**夏まつりの様子をお伝えします**

盆踊り



手づくりおもちゃ



ぼぶら組  
おみこし



ワニワニゲーム





## 感触遊びの様子をお伝えします

### たけのこ組 (1歳児クラス)

新聞紙を「ビリビリしようか」と子どもたちを誘ってみると、何だろうという表情をして寄ってきます。新聞紙を渡されると手には持たず保育士の顔を見ている子どもや、ちょうど自分から手にする姿もありました。両手に持って力いっぱい左右に引っ張り上手く破く事ができないと、持っていた紙を保育士に渡してきます。上の方だけを少し破り「ここ持ってね」と一緒に破くと「ビリビリ」と音を立てて破けました。一瞬「あっ」という表情をしていましたが、「ビリビリできたね」と声をかけられると笑顔に変わっていました。その様子を見ていた周りの子どもも面白そうと手に取り一緒に破いています。もっとやりたいと身を乗り出して催促するほど新聞紙がビリビリに破けていく感触を繰り返し楽しんでいきます。破いた紙が沢山になったところで保育士が上から散らすとヒラヒラ落ちてくる様子を見て楽しんだり、紙を集めて手の中の紙の感触を感じたりしています。同じように上から散らしたり最後はビニール袋に集めて入れ、ボールにして投げたり蹴ったりして遊んでいました。これからも砂、水、小麦粉など身近な素材を使い、何だろう、面白い、楽しいという気持ちを大切に遊んでいきたいと思っています。



### もみじ組 (3歳児クラス)

保育士がホースから水をまき始めると子どもたちは大喜びし、ホースから出る水を追いかけてきます。次第に水たまりができて地面がドロドロになるとカップを持ってきて「ドロドロだよ」と泥をカップに入れたり、ぐちゃぐちゃと握っては「おぼけだよ」と泥だらけの手を友達に見せ合っています。また、水たまりの上で飛び跳ねて「ジャンプ、ジャンプ」「おもしろいよ」と感触を楽しんでいます。子どもたちはどんどん遊び方がダイナミックになり、ワニのように腹ばいで進んだり、全身で泥んこ遊びを満喫していました。園庭に出る前は「やらない」と言っていた子どもも、楽しんでいる友達の姿を見て少しずつ泥に触れて泥んこ遊びを楽しむことができました。これからも様々な素材での感触あそびを楽しみながら、子どもたちの発見ややりたい気持ちを大切にしていきたいと思っています。

